

平成28年度施策評価シート(平成27年度実施事業)

作成主管課	公民館・図書館
	生涯学習課
関係課	
施策名	生涯学習
施策コード	5-2-1

総合計画後期基本計画の内容 ※H24.2月策定

政策体系	政策	人が輝き、豊かな文化を創造・発信するまちづくり
	小政策	だれもが自ら学び、能力を発揮できる環境をつくり出す
現況と課題	<p>本格的な超高齢社会を迎え、社会・経済におけるグローバル化や高度情報化は、今後もますます発展すると言われており、社会が成熟化したことに伴って、幅広い世代においてそれらを学ぶことへの意欲が高まっています。また、東日本大震災では、安心・安全に暮らしていくうえでの自主的な学習や情報収集の必要性が再認識されたとともに、持続可能な地域づくりや満足度が高い生涯をおくるという観点からも、学びや活動の場の必要性和重要性は増えています。</p> <p>本市では、学校教育と社会教育の連携を推進しながら、図書館、公民館といった生涯学習の拠点施設の整備や充実に努めてきたところ、市内図書館の平成21年度中における貸出実数は、人口8万人以上10万人未満の市町村では全国第1位となり、その後も全国での貸出実数順位の上位を継続しております。また、各種の公民館講座の開設や小学生の学力向上事業など、学習機会の提供と意欲醸成のための発表の場の確保にも努めてきました。</p> <p>今後は、豊かで安心できる市民生活の基礎となるような資料・情報の提供やさまざまな学習の場の提供に努めます。また、生活の質の向上につながる生涯学習体制の整備・推進を図るとともに、その拠点となる生涯学習施設の適切な維持管理を進めていく必要があります。</p>	
施策目標	市民一人ひとりが、自主的・主体的に生涯にわたり学び続けられるよう、関係機関との連携を図りながら、適切な資料や情報を収集できる環境を構築し、学習機会の提供に努めます。また、生涯学習の拠点となる施設の計画的な整備及び維持管理を実施します。	

1 総合計画進行管理

市民からの意見・反応等	<p>【公民館】講座に抽選漏れた方々より、講座数を増やして欲しい等の要望があった。</p> <p>【図書館】平成27年度市民実感度アンケートにおいて充実していると感じているが61.68%で、充実していないの33.20%を上回っており、現状においては市民実感度の高い施策である。</p>
-------------	--

(1) 目標指標1

市民実感度指標		H23現状値	H24	H25	H26	H27	H28
生涯学習をする施設(公民館・図書館等)が充実していると感じている市民の割合	市民実感度	73.050	57.210	64.060	58.440	61.680	0.000
	加重平均値	2.960	2.694	2.796	2.694	2.737	0.000
※※※※※※	市民実感度	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	加重平均値	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
当施策を重要と感じている市民の割合	重要度		82.150	83.530	82.920	82.990	0.000
	加重平均値		3.248	3.259	3.278	3.310	0.000

(2) 目標指標2

数値指標		単位	H23現状値	H24	H25	H26	H27	H28
図書館入館者数	目標値	人		535,000	537,000	539,000	541,000	543,000
	実績値	人	532,395	622,959	639,809	627,252	624,381	0
	達成度	%		116.44	119.15	116.37	115.41	0
	ベンチマーク		0	0	0	0	0	0
図書館資料案内件数(レファレンス件数)	目標値	件		2,900	2,950	3,000	3,050	3,100
	実績値	件	1,951	6,051	7,430	7,723	6,462	0
	達成度	%		208.66	251.86	257.43	211.87	0
	ベンチマーク		0	0	0	0	0	0
図書館資料展示回数	目標値	回		12	12	12	12	12
	実績値	回	9	31	53	60	84	0
	達成度	%		258.33	441.66	500	700	0
	ベンチマーク		0	0	0	0	0	0
公民館利用者数	目標値	人		195,000	195,000	195,000	195,000	195,000
	実績値	人	194,055	158,411	182,037	188,673	173,283	0
	達成度	%		81.24	93.35	96.76	88.86	0
	ベンチマーク		0	0	0	0	0	0

数値指標の考え方	指標設定の考え方	<p>【公民館】多くの人に来館していただくため、公民館利用者数を指標とした。</p> <p>【図書館】館利用の基本として入館者数、利用者が図書館資料を活用しやすくなるための人的支援の一つとしてレファレンス件数、図書館資料についての情報発信として特集展示をおさえた。</p>
	目標値設定の考え方	<p>【公民館】市民人口の減少化を考慮し、前年度の実績を維持することを目標とした。</p> <p>【図書館】H23年度実績を踏まえ年々の増加を見込み設定、資料展示に関しては3館それぞれに季節による切り替えを目標とした。</p>

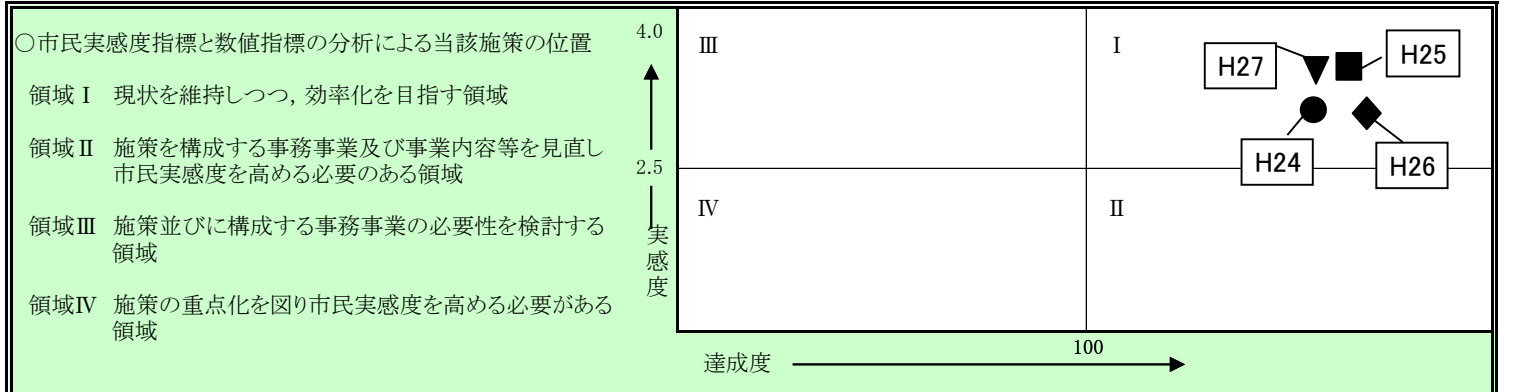
2 施策の成果向上に向けての市民と行政との役割分担をどう考えるか

市民の役割	<p>市民(地域・団体・事業所)が自助でやるべきこと。共助でやるべきこと。市と協働でやるべきこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> 各種の資料・生涯学習情報や学習の機会、各施設を大いに活用する。 自主サークルなど各団体の会員数や利用者数を増やす。 市民各自が生きがいを持って生活し、市民交流も盛んにするよう努める。
行政の役割	<p>市がやるべきこと。県がやるべきこと。国がやるべきこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民が継続的に生涯学習を行えるよう、資料や情報・施設・人的環境などを整備し、様々な生涯学習の機会とその成果を活用する機会を提供する。 【公民館】各種の講座や教室、自主活動などの学習機会や公民館施設を提供し、市民交流を盛んにする。 【図書館】多種多様な新しい図書館資料・情報を収集・提供し、人的支援や施設利用・集会事業などを通して市民生活を豊かにする。

3 平成27年度の取組状況

取組状況等	<p>取り組み内容と成果、成果が得られた要因として考えられること。</p> <p>【公民館】各種講座について、女性主体のものから男性また児童も参加できる講座の企画と実施により、多くの受講者が参加し、より広い生涯学習の機会を提供することにより、市民から高い充実感を得ることができた。</p> <p>【図書館】昨年同様に限られた予算の中で最大限の効果を上げるべく、3館調整による資料購入を実施した。また、レファレンスや資料の展示、各種講座やおはなし会などの実施、各種情報発信や関係機関・部所との連携により、多くの市民に生涯学習実践の機会と場を提供した。</p>
-------	--

4 施策の評価(現状分析)



指標を分析した結果施策目標は達成されたのか

達成度評価	<p>【公民館】目標指標である公民館利用者数については、4ヶ月間に渡る友部公民館修繕工事の影響もあり、目標値には至らず、平成26年度と比較すると7.9ポイント下回った。</p> <p>【図書館】現在の数値指標は3点であり、すべての項目で目標値を上回ることができた。また、市民アンケート調査での実感度においては昨年を3ポイントほど上回った。これは、利用者への各種生涯学習機会の提供等が成果となっているものと思われる。</p>
-------	---

施策目標を達成するための手段(事務事業)の構成は妥当か

構成事務事業の適正性	<p>【公民館】施策目標を達成するための事務事業の構成としては適正である。</p> <p>【図書館】構成事務事業は図書館の基本運営事項(施設・資料活用等)によるもので、市民への生涯学習機会の提供として適切なものであり今後も継続していきたい。</p>
------------	--

平成28年度以降に残る課題、その要因として考えられること。

残された課題	<p>【公民館】各種講座や自主サークル活動を更に盛んにすることにより、活動場所不足の解消等が課題となので、地区公民館等の活用を促進していく。</p> <p>【図書館】笠間市立図書館は貸出実績においては全国でのトップレベル、その他開館時間・利用者数などにおいては県内トップクラスの実績を上げている。しかしながら近年の資料費の削減により、市民の要望に対応するのが困難な状況になりつつある。</p>
--------	--

5 今後の方向性

取組方針	<p>平成29年度に向けた施策方針</p> <p>【公民館】施策目標である学習機会の提供と生涯学習の拠点となる施設として、市民のニーズを的確に把握し、そのニーズにあった事業を展開していく。</p> <p>【図書館】限られた予算を最大限に活用するため、3館での購入資料調整を継続していく。ただし、現行予算での資料入替え率(開架書架)は約6%であるが、8%程度の入替えは実施して行きたい。</p>
------	--

シート3-1 施策構成事務事業貢献度評価

施策名 01 生涯学習

事業費合計	平成25年度	平成26年度	平成27年度	3カ年計	3カ年平均
	57,815	5,133,084	217,536	5,408,435	1,802,812

施策を構成する事務事業	事業内容	事務事業性質	成果					補助区分	事業費(千円)			小施策	担当課	貢献度評価
			成果指標①	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度			
1 社会教育事業	社会教育行政の円滑な推進を図るため、社会教育委員(12名)並びに社会教育指導員(6名)を委嘱している。社会教育委員については、H22年度より社会教育の効率的な推進と、会議の活性化を目的に公民館運営審議会委員との併任委嘱しており、社会教育に関する助言及び公民館における各種事業の企画・調査の審議を行なっている。また、社会教育指導員については、各公民館(笠間・友部・岩間)に2名ずつ6名を配置し、家庭教育学級と寺子屋事業を担当している。旧岩間町において、生涯学習推進活動補助金として、地区公民館活動に対し補助していたものを、平成20年度に「笠間市社会教育推進事業補助金交付要綱」として策定し、活動団体に補助していた。その後、要綱を改正し、平成21年度より、団体補助から事業補助とした。平成26年度には社会教育関係団体登録要領を策定し登録の詳細な基準等を定めた。社会教育関係団体に登録している団体に対して、補助額は事業総額の1/2で、50,000円～150,000円の範囲で交付している。笠間市内にある各小中学校PTAの相互連携・強化及び共通課題の解決を目的に笠間市PTA連絡協議会を設置している。連絡協議会では、指導者研修会等を中心に各種事業を実施している。	101 義務的事業	事業数(社会教育委員会、家庭教育、寺子屋)	件	56	52	52	市単独	5,100	15,088	15,034	01 学習情報及び学習機会の提供	生涯学習課	1
2 公民館講座運営事業(笠間)	市民の教育の向上、健康増進等を図れるような各種講座を開設し、生活文化の振興に寄与することを目的とする。	101 義務的事業	講座数	講座	11	11	17	市単独	354	380	765	01 学習情報及び学習機会の提供	公民館	2
3 公民館講座運営事業(岩間)	社会教育法第20条の目的達成のため、同法第22条の公民館の事業として実施する。	101 義務的事業	講座数	講座	13	15	20	市単独	620	661	918	01 学習情報及び学習機会の提供	公民館	2
4 岩間公民館運営事業	笠間市公民館設置及び管理に関する条例。いばらき公共施設予約システムを活用し、正確な事務執行を行う。	101 義務的事業	有料による使用件数	件	23	23	28	市単独	0	877	555	02 施設・設備等の活用と充実	公民館	5
5 友部公民館運営事業	窓口又は電話による適正な貸館の受付、貸出業務と料金徴収。定期利用団体との利用調整。	101 義務的事業	有料の使用件数	件	205	205	0	市単独	2,480	2,048	1,853	02 施設・設備等の活用と充実	公民館	5
6 笠間公民館運営事業	・公民館運営審議会においては、社会教育法第29条に規定する審議会であり、館長の諮問に応じ公民館における各種事業等の企画実施につき調査審議する。・窓口または電話による適正な貸館の受付、貸出業務と料金徴収。・定期利用団体との利用調整。	101 義務的事業	有料の使用件数	件	99	120	142	市単独	0	1,640	1,463	02 施設・設備等の活用と充実	公民館	5
7 岩間公民館施設整備事業	快適な施設を利用者に提供できるように施設の修繕を行う。	102 建設・整備事業	整備件数	件	3	4	1	市単独	0	0	1,299	02 施設・設備等の活用と充実	公民館	10
8 笠間公民館施設整備事業	快適な施設を利用者に提供できるように施設の修繕を行う。	102 建設・整備事業	整備件数	件	16	17	7	市単独	0	0	611	02 施設・設備等の活用と充実	公民館	10
9 笠間公民館リニューアル事業	笠間公民館については、建設時から30年以上が経過し施設の老朽化が進んでいる。将来において公民館施設としての運営を継続していくため、今回、施設全体の改修を計画的に整備していく。	102 建設・整備事業	公民館利用者数	人	0	56,673	55,828	市単独	0	1,944	31,569	02 施設・設備等の活用と充実	公民館	2
10 友部公民館施設整備事業	快適な施設を利用者に提供できるように施設の修繕を行う。	102 建設・整備事業	整備件数	件	18	12	4	市単独	0	0	12,588	02 施設・設備等の活用と充実	公民館	10
11 生涯学習振興基金事業	生涯学習の充実及び生涯学習の振興に資することを目的としている。合併前は友部町歴史民族資料館の整備などに使用してきた。	103 内部管理事務	基金充当事業件数	件	0	1	0		0	1	0	01 学習情報及び学習機会の提供	生涯学習課	10
12 笠間図書館改修事業	・築11年を経過し、施設設備の老朽化が進む中、利用者が安全・安心に利用できるよう、必要に応じ改修修繕を行う。	105 維持管理事業	入館者	人	0	280,000	274,936	市単独	0	2,100,000	4,318	02 施設・設備等の活用と充実	図書館	3

シート3-1 施策構成事務事業貢献度評価

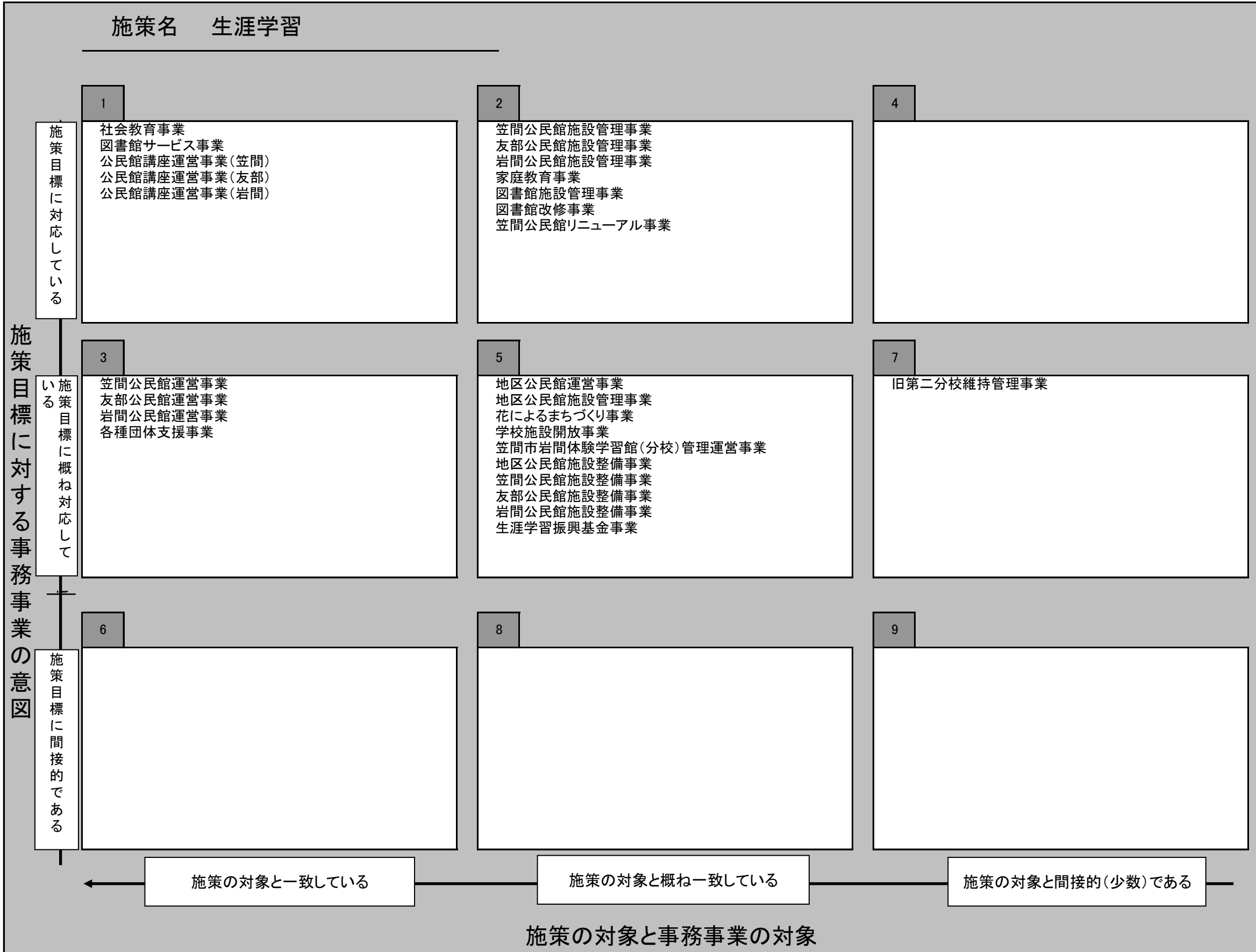
	施策を構成する事務事業	事業内容	事務事業性質	成果					補助区分	事業費(千円)			小施策	担当課	貢献度評価
				成果指標①	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度			
13	友部図書館施設管理事業	・図書館法に定められた図書館サービスが円滑に実施されるために必要不可欠な事業である。 ・施設設備の保守管理については、一部外部に委託実施している。 ・築23年を経過し、施設設備が老朽化の進捗中、利用者が安全安心に利用、更に利便性を高めるため、定期的な点検と必要に応じての改修、修繕を実施していく。	105 維持管理事業	入館者数	人	0	240,000	215,535	市単独	0	5,500	20,533	02 施設・設備等の活用と充実	図書館	3
14	友部図書館改修事業	・築23年を経過し、施設設備が老朽化の進捗中、利用者が安全安心に利用、更に利便性を高めるため、必要に応じて改修、修繕を実施していく。	105 維持管理事業	入館者数	人	0	240,000	215,535	市単独	0	230,000	1,067	02 施設・設備等の活用と充実	図書館	3
15	岩間図書館施設管理事業	図書館法に定められた図書館の主要サービス(図書館サービス事業)が円滑に実施されるために必要不可欠である。	105 維持管理事業	入館者数	人	115,625	116,937	118,151	市単独	0	154,900	307	02 施設・設備等の活用と充実	図書館	3
16	学校施設開放事業	一般市民に開放できる、多目的室を備える、学校施設(大原小・友部中・岩間中)を開放し、地域住民の社会教育活動の場として提供している。なお、その際の施設管理については、シルバ人材センターに受付業務も含め委託している。	105 維持管理事業	施設利用者数	人	4,500	3,630	3,520	市単独	164	187	200	02 施設・設備等の活用と充実	生涯学習課	8
17	岩間体験学習館(分校)管理運営事業	岩間体験学習館「分校」は、昭和37年に建設され、昭和57年まで学校として使用されていた。その後、分校の形をそのままに、青年会の活動拠点や地域の集会所として利用されてきた。昭和60年からは、旧岩間町と武蔵野美術大学のサークル「アトリエちびくろ」の共催による宿泊体験事業「図工教室」の活動拠点として活用されている。今後の利活用は、「図工教室」のほか、青少年の豊かな人間形成と社会教育団体の活動の場として提供する。なお、管理については、地元組織に委託している。	105 維持管理事業	施設利用件数	件	250	467	517	市単独	1,008	1,082	782	02 施設・設備等の活用と充実	生涯学習課	8
18	旧第二分校維持管理事業	第二分校は、旧岩間町の分校として使われていたが、廃校後は、校舎も取り壊され、跡地だけが残っている。跡地については、平地区地域のゲートボールや夏祭り等に利用されてきた。平成23年度より、災害時の「緊急避難所」として位置づけられた。平成25年度には、付属施設等を撤去し更地にして、外灯を平地区に移管した。平成26年度からは地元地区が使用している。	105 維持管理事業	行政財産使用許可数	件	1	0	0	市単独	316	0	0	02 施設・設備等の活用と充実	生涯学習課	12
19	笠間図書館施設管理事業	・図書館法に定められた図書館サービスが円滑に実施されるために必要不可欠な事業である。 ・施設設備の保守管理については、一部外部に委託して実施している。 ・築12年を経過し、施設設備の長寿命化対策の検討が必要である。	105 維持管理事業	入館者数	人	273,543	269,240	274,936	市単独	0	1,864,000	17,013	02 施設・設備等の活用と充実	図書館	3
20	地区公民館施設整備事業	各地区公民館においては、建設時からの年数もかなり経過しており、老朽化に伴う使用上の障害も見受けられるため、優先順位をつけて修繕工事等を行う。	105 維持管理事業	整備件数	件	42	18	24	市単独	0	3,807	6,593	02 施設・設備等の活用と充実	公民館	12
21	岩間公民館施設管理事業	市民がいつでも快適に利用できるよう、岩間公民館を維持管理していくための経費(委託費、修繕費)	105 維持管理事業	利用件数	件	2,398	2,126	2,155	市単独	1,358	1,249	1,781	02 施設・設備等の活用と充実	公民館	3
22	友部公民館施設管理事業	昭和52年に建築され、老朽化の進捗中、利用者が安全安心に利用、更に利便性を高めるため、定期的な点検と必要に応じての改修、修繕を実施していく。	105 維持管理事業	利用件数	件	6,008	6,285	5,361	国補助	13,080	11,378	11,407	02 施設・設備等の活用と充実	公民館	3
23	地区公民館施設管理事業	地区公民館の運営に必要な燃料費や光熱水費等を含む維持管理を行う。	105 維持管理事業	利用件数	件	3,332	3,827	3,832	市単独	6,554	6,807	7,110	02 施設・設備等の活用と充実	公民館	8
24	笠間公民館施設管理事業	笠間公民館においては、昭和57年に建設され老朽化が進むなか、利用者が安全安心に利用できるよう管理していくとともに、さらなる利便性の向上を図るため、定期的な点検と必要に応じて改修及び修繕を実施する。	105 維持管理事業	利用件数	件	3,229	3,021	2,994	市単独	22,321	21,956	20,500	02 施設・設備等の活用と充実	公民館	3
25	地区公民館運営事業	昭和40年代からの学校統合による土地利用や、土地改良事業の補助による施設整備により、各地区の社会教育の拠点として笠間地区に12施設が設置されている。当施設のより充実した運営を図る。	106 政策的事業	利用回数(全館)	回	3,332	3,827	3,832	市単独	2,073	995	2,994	02 施設・設備等の活用と充実	公民館	6
26	家庭教育事業	子ども達の健やかな成長と、家庭における教育力の向上を目指し、市内幼稚園、保育園、保育所、小学校、中学校において、家庭教育学級を開設(36学級)している。各学級では、学級長を選出し、学級長を中心に計画を立て、年3回、学級を実施(講演会・視察研修・子育て講座など)している。また、就学時健康診断や新入児童保護者説明会の際に、子育て講座を実施している。	106 政策的事業	家庭教育学級開催回数	回	120	120	124	市単独	0	1,000	270	03 推進体制の充実	生涯学習課	5

シート3-1 施策構成事務事業貢献度評価

	施策を構成する事務事業	事業内容	事務事業性質	成果			補助区分	事業費(千円)			小施策	担当課	貢献度評価		
				成果指標①	単位	平成25年度		平成26年度	平成27年度	平成25年度				平成26年度	平成27年度
27	笠間図書館サービス事業	・図書館サービス事業は、市民の生活に必要な様々な資料・各種講座の提供やギャラリーを利用した情報の発信等広い分野において市民が求める情報を提供し、市民の教養・調査研究・レクリエーション等に資する事業である。・「子どもの読書活動の推進に関する法律」(平成13年法律第154号)の成立により、本市でも平成20年3月に「笠間市子ども読書活動推進計画」、平成27年4月に「第二次笠間市子ども読書推進計画」が策定され、「市立図書館の整備」や「市立図書館と学校図書館の連携・協力」等が方策としてあげられている。	106 政策的事業	入館者数	人	273,543	269,240	274,936	市単独	0	677,400	41,316	02 施設・設備等の活用と充実	図書館	1
28	各種団体支援事業	・地域において女性が生涯学習をより活発に行えるように女性自らが目標を掲げ、計画的・継続的に学びあえる機会を提供し、幅広い知識を身につけ、会員相互の交流と親睦を図る。【女性学級】・市民文化の振興と各文化団体の育成と連携及び広く地域の文化向上を目的とした事業活動を行う。【文化連盟】・市民が、日頃の練習成果の発表の場と機会を提供することにより、本市の囲碁・将棋の発展を図るとともに、多くの市民が参加することによって、より豊かな生活文化と市民の連帯意識を高揚する。【囲碁・将棋愛好会】	106 政策的事業	開催回数	回	103	70	78	市単独	623	578	570	01 学習情報及び学習機会の提供	公民館	6
29	花によるまちづくり事業	環境美化意識や自然を愛する感性を育み、花づくりを通して地域コミュニティの活性化を図ることを目的に、市内居住の5人以上の希望団体に花苗を配布している。花苗は6月頃に配付し、団体の植栽や管理状況を審査する「笠間市花壇コンクール」を実施する他、優秀団体の表彰・事例発表・講習会なども行なっている。また、関連事業として、大好きいばらき県会議主催の「花と緑の環境美化コンクール」があり、市コンクールの優秀団体を推薦している。	106 政策的事業	参加申込団体数	団体	180	201	199	市単独	947	949	932	01 学習情報及び学習機会の提供	生涯学習課	8
30	岩間図書館サービス事業	・図書資料及び、視聴覚資料の貸出は、図書館法における図書館業務の根幹をなす業務 ・ブックスタート事業やおはなし会を開催し、幼少期から本に親しむ機会を提供する	106 政策的事業	入館者数	人	115,625	116,937	118,151	市単独	0	13,000	11,015	02 施設・設備等の活用と充実	図書館	1
31	友部図書館サービス事業	・図書館サービス事業は、市民の生活に必要な様々な資料・各種講座の提供やギャラリーを利用した情報の発信等広い分野において市民が求める情報を提供し、市民の教養・調査研究・レクリエーション等に資する事業である。 ・「子どもの読書活動の推進に関する法律」(平成13年法律第154号)の成立により、本市でも平成20年3月「笠間市子ども読書活動推進計画」が策定され、「市立図書館の整備」や「市立図書館と学校図書館の連携・協力」等が方策としてあげられている。	106 政策的事業	入館者数	人	0	240,000	215,535	市単独	0	15,000	1,229	02 施設・設備等の活用と充実	図書館	1
32	公民館講座運営事業(友部)	市民の教育の向上、健康増進等を図れるような各種講座を開設し生活文化の振興に寄与することを目的とする。	106 政策的事業	講座数	講座	16	16	17	市単独	817	657	944	01 学習情報及び学習機会の提供	公民館	2

シート1 施策内事務事業目的直結度評価

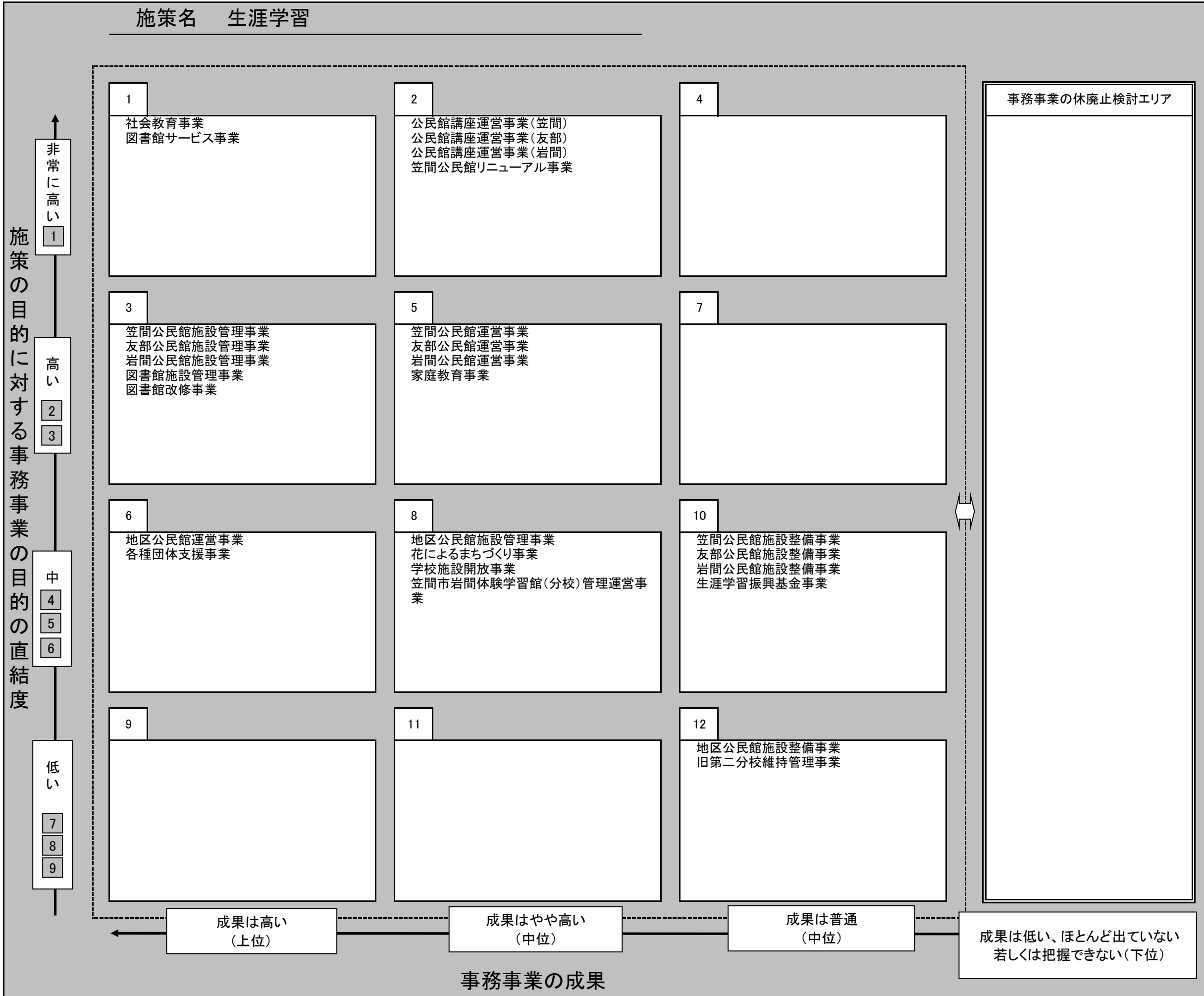
施策名 生涯学習



義務的的事业, 内部事務事業 公民館予約調整及び使用料徴収事業(笠間) 公民館予約調整及び使用料徴収事業(友部) 公民館予約調整及び使用料徴収事業(岩間)
--

シート2施策内事務事業貢献度評価

施策名 生涯学習



事務事業の休廃止検討エリア

義務的的事业, 内部事務事業

公民館予約調整及び使用料徴収事業(笠間)
公民館予約調整及び使用料徴収事業(友部)
公民館予約調整及び使用料徴収事業(岩間)

事務事業の成果基準の説明